

## 令和2年2月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年2月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が1業種、前年同等が7業種、悪化が6業種で、全体の景況感DI値も1月より悪化している。

卸売業からは、商品の在庫の増加により売上が上がったとの報告もあるが、ほとんどの業種で、新型コロナウイルスの影響を受けており、売上の減少や収益の悪化がみられる。

山口県の中小企業は、新型コロナウイルスの影響の拡大、長期化により、事業の先行きが見通せず、不安を抱えている。

### 山口県の主要指標 DI 値 (令和2年2月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：47.5% DI値：▲46.2% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：12.5% 減少：47.5% DI値：▲35.0% ポイント










収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：40.0% DI値：▲32.5% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年2月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲71.4	▲25.0	▲66.7	▲100.0	▲33.3	▲44.4	0.0	▲48.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲62.5	▲100.0	▲45.5	▲18.2	▲57.1	0.0	▲44.7	▲46.2
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響により、小・中学校が休みになり、学校給食に調味料を納入している業者の収益悪化が考えられる。	調味料製造業
	新型コロナウイルスの影響で、2月中旬より公共交通機関売店の土産菓子の動きが急激に悪化し、売上は4割減少。また、3月の注文で学校関係のキャンセルが多数発生している。3月以降の見通しが立たず、業界は大きな不安を抱えている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	新型コロナウイルスの影響がみられる。3月からの学校休校の影響が甚大。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は対前年同月比+8.0%と好調。閏年で営業日が一日多かったこと、暖冬で比較的天気が穏やかだったこと、河津桜の開花が例年より一週間程度早かったことも収益に貢献した。ただし、2月の最終週（2/24～3/01）は新型コロナウイルス関連で、明らかに客足が落ちた。3月8日の「真ふぐ祭り」、3月15日の「萩しろうお祭り」も中止となり、3月はコロナショックで厳しい商いとなりそう。	水産食料品製造業 萩市
	新型コロナウイルスの影響は未知数。消費は大きく落ち込むと感じる。食品製造業で患者が出た場合、どのように対処すればいいのか不安。操業停止となると影響は大きい。	水産食料品製造業 下関市
	2月は、中国で発生した新型コロナウイルスが日本各地でも蔓延し、東京オリンピックの開催が危ぶまれるなど、想定外の事態が発生している。いわゆる突発的な想定外の事態である「ブラックスワン」に対応できるような経営の仕組みの構築が必要となっている。政府の予想外のウイルス対策の発表により、2020年3月は、記録的な不況となることが予想されるので、中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	技能実習生7名再来日（技能実習3号1期生=2年延長）、技能実習生2名帰国（ベトナム2名） 現在、技能実習生59名（中国26名+ベトナム33名）。	下着類製造業
	新型コロナウイルスの影響がどう出てくるか不安。まだ出ていない。	外衣・シャツ製造業 山口市
	年度末に向けて受注が増加していることに加えて、新型コロナウイルスの関係で海外の生産を国内生産に切り替えを検討する引き合いも多い。3月、4月はフル生産の状態である。	外衣・シャツ製造業 萩市

	現在、何より不安な事は新型コロナウイルス問題。感染経路や治療薬の心配が毎日の話題となる。製造業は時差出勤、テレワークは全く不可能。心配ばかりが頭を駆け巡る。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	例年1月、2月は仕事量が減少するが、今年は新型コロナウイルスの影響で、家の建築やリフォームするという気持ちになれないかもしれないので、例年以上に仕事量が減少すると思われる。	製材業・木製品製造業 岩国市
	組合員の業況については依然売上低調で大きな変化なし。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	年度末にもかかわらず、残業なしで仕事がこなせるほど暇。新型コロナウイルスの影響で竣工式が中止、印刷途中での物件がキャンセル。当日分チラシのキャンセルなどがあり、当分影響が続きそう。	印刷 山口市
	2月後半に入って新型コロナウイルスの影響が出始めている。イベント関係が中止になり、チラシ制作が中止になる事態が発生しており、3月はその影響がさらに大きくなると予想される。	印刷 下関市
窯業・ 土石製品	(平成31年2月) 骨材99%、路盤材141%、再生材164% ↓ (令和2年2月) 骨材97%、路盤材 81%、再生材 74% 出荷数量激減。新型コロナウイルスの影響は今のところ無い。	砕石製造業
	出荷量は、前月比78%、前年同月比104%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	新型コロナウイルスの発生により、今後の中国製品の納入状況が気になる。加工をする事業所についての影響は少ないが、中国より製品を仕入れている所は春節からの影響が若干ではあるが出ている。	石工品製造業
	萩市内小売店の売上は昨年と比較し減少。22日から24日の3連休は若干の賑わい。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外国人観光客は皆無。国内の観光客も減少。2月2日～10日に東京ドームでテーブルウェア・フェスティバルが行われ、当組合から5社が参加した。こちらも新型コロナウイルスの影響なのか、来場者は7%減(昨年27万5千人・今年25万5千人)、売上も減少という結果であった。ギフト・卸関係・百貨店の受注も昨年と比較し減少。3月、福岡マリンメッセで行われる陶磁器フェア(3月19日～23日)は政府の大型イベント開催自粛要請を受けて中止となった。5月1日～5日には萩まつりも控えており、これが中止となると、萩焼業者にとって死活問題になってくる重要な案件である。組合としては、新型コロナ	陶磁器・同関連 製品製造業

	ウイルス感染の終息まで、なんとか知恵を絞って、この難局を乗り越えていかなければならないと考えている。	
一般機器	惣菜を扱う組合員企業では新型コロナウイルスに敏感になっている。他製造業の組合員企業からは特に何も報告など受けていない。	岩国市
	年度末に向けて予算のある顧客より駆け込みでの発注などもあり、2月は3月に近づくとつれ業況は良くなってきた模様。人材不足には変わりなく、人材不足に伴う外注費の高騰も続いている。尚、鉄鋼業界関係の組合員は大手鉄鋼メーカーの統合・縮小で、今後の動向を不安視している。	下松市
	自動車メーカーの部品の受入は中国からが大きな比重を占めているため、中国武漢で発生した新型コロナウイルスの影響で輸送が止まり、仕事が進まなくなった。先行き不安材料が極端に増加し、国の融資に頼る動きも出ている。自動車関連は、このように中国の動きに左右されている。鉄工構造物は今のところ屋外工事のため3月までは、受注の消化に努めるとのこと。公共施設の休館、催し物の中止、大型店の客足減退など経済面にプラスになるものが全く見当たらない。	防府市
	惣菜、自動車関係等実習生を入れている大半の職種で業績は好調であるが、中堅企業においても人材の確保に苦慮している。なお、米中経済摩擦の一段落により、機械設備、半導体関連は人員の確保に舵を切り始めたところであったが、新型コロナウイルスの流行による影響の見通しが立たない中、採用に躊躇する傾向がある。介護職については引き続き要望が多いが、他の業種に比べ準備期間が長くかかるため、全ての要望に応えるには人材の確保に時間が必要である。3号移行者の入国は順調で即戦力として活躍している。特定技能についても徐々に受け入れが増える傾向にあるが、手続きが不明な点が多く慎重を期す必要がある。	宇部市
	消費税の引き上げ、新型コロナウイルスの影響などで全体的に自粛ムード。	下関市
輸送機器	鉄道車両は輸出案件が生産の終盤を迎えてはいるが、輸出以外の案件も多くあり、変わらずに作業量が多い状況が続いている。半導体も高い作業量水準が継続している。産業プラント部門が減少気味。人手不足の問題が懸念される。原材料価格の上昇とその他経費の増加が継続している。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	この冬、暖冬の影響で海苔が高くて買えない。売上は、他商品の入庫で前年同月比5.8%増。在庫も3.7%増加。	乾物卸売業

	「ふく」の売上は横ばいだが、残り2ヶ月の「ふく」シーズン中に売っていかないといけない。新型コロナウイルスの影響で観光客が激減し、料理屋の注文キャンセルが多い。市場内で寿司等を提供する週末のイベントも中止している。	生鮮・魚介卸売業
	組合員企業が近隣の土地を購入されたとの連絡あり。組合員の中にもご子息に社長を交代された企業が出てきて、来期は役員の変更もありそう。	各種商品卸売業 防府市
	下関地域は高齢化、少子化、人口減がかなり進んでいるエリアなので、マーケットの縮小により、今後、競争激化が見込まれる。	各種商品卸売業 下関市
小売業	新型コロナウイルスの影響で、インバウンドの外国人及び地元の人でも出歩かなくなり、客足が遠のいたせいか、売上も落ちている。県内全体にこのような傾向が見られ、売上も同様に落ちている。各化粧品メーカーもお客様への接触が禁止となったことが売上に影響していると思われる。また、各化粧品メーカーのセミナーも中止になってきている。	化粧品小売業
	新型コロナウイルスの影響で中国部品の納入が滞り、2月後半より家電製品の品切れが多い。	機械器具小売業
	1月下旬に武漢の新型コロナウイルスが公表された。地方都市経済には及ばないと考えていた影響は、思いの外早く訪れた。中国の春節以降、物流ルートに障害が起き材料の流通が止まると、製造・出荷が直接的に脅かされ、2月中旬に市況は悲鳴を上げた。続いて日本へのコロナショック。イベントの中止・学校閉鎖・自治体の催事はマヒして、民間も足並みを揃え、もはや国難である。2月末現在、回復や改善、復旧の見込みは無く、ひたすら耐えるばかりに日が重なっている。	各種商品小売業 岩国市
	新型コロナウイルス関連で今春開催予定のイベント中止の方針決定。	各種商品小売業 周南市
	相変わらず商店街内の入街者数は激減している。午後になると、人通りがまばらな時が目立つ。商店街に足を運んでもらえるような施策を思案中である。	各種商品小売業 下関市
商店街	昨年閉店した商店街内のスーパーの利用活用が決まり好材料ではあるが、スケジュールがどの様になるのかが気がかりである。	宇部市
	2月に入ったが、売上は良い状態でない。新型コロナウイルスの影響で悪くなる一方である。春のイベントも中止が予定されている。「来客がないのに追い打ちをかけられている」と、商店主は話す。来客が少ない中で、新型コロナウイルスの影響は大きい。国も方策を立てている模様だが、現場はとても厳しい。	萩市

サービス業	例年より暖かい日が続き、人々が外出しやすい条件が整ったせいか、前半は、2月という1月と3月にはさまれた月としては、順調に客数が伸びた。しかし、後半は新型コロナウイルスの影響が多少出ている模様である。	美容業
	先月に比べ回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が心配である。	理容業
	例年、日本自動車整備振興会連合会が公表している「自動車分解整備業実態調査」の結果が、1月29日に取りまとめ公表された。総整備売上高は、3年連続で増加し5兆6,216億円となり総整備売上の回復基調が続く。整備業界にとっては大変明るい話題となっているものの、業態別で見ると過去から専業・兼業工場がディーラーを上回っていたものが、昨年度からディーラーと専業・兼業が逆転し、ディーラーが拡大する動きが浮き彫りとなっている。その要因の一つに、自動車の先進技術の高度化や先進安全装置の搭載車両の増加により、ディーラーへの依存度が高くなってきているものと思われる。今後、ますます格差が広がっていくことが考えられることから、専業・兼業工場の生き残りをかけた整備技術向上策等が急務となる。	自動車整備業
	新型コロナウイルスでの休校でスイミングスクールは被害甚大。スポーツジムは危険スポットになっている。風評被害が心配。	スポーツ・健康教授業
	1～2月はクリーニング業の閑散期とされるが、暖冬の影響か厚手の物も早めに少しずつ出てくるようになった。そのためか昨年と比べて売り上げは増えている。しかし、その分繁忙期とされる3～6月の売上が前年比割れをしそうで心配なところである。また、新型コロナウイルス感染拡大による事業への直接の影響はまだないが、出歩かない、イベント中止などによる冬物衣料の着用減が、先程述べた暖冬の影響と合わせて繁忙期へ響きそうで心配なところである。また、近隣の飲食業、製造業は新型コロナウイルス感染拡大によりかなりの打撃を受けていると聞いている。	普通洗濯業
	新型コロナウイルス発生による影響で、出張の減少、旅行の取りやめ等が多い。旅行業は壊滅的な打撃を受けている。	旅行業
	閏年で昨年より稼働日が一日多いため、新型コロナウイルスの感染拡大によるキャンセルは発生したものの、宿泊人員は前年同月比100%であった。売上は前年同月比3%のマイナスとなった。	旅館業 山口市
	売上高は、前年の入浴料値上げにより増加している。資金繰りの悪化は、消費増税の影響と、施設加熱の重油から灯油への転換等により設備費の増加によるもの。	旅館業 長門市

	順調に宿泊者数は伸びていたが、新型コロナウイルスにより国内旅行者のキャンセルが続出。先の予約も停滞している。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請 178 件(当支部 154 件)、前年同月 176 件(同 150 件)。太陽光発電への申請 23 件(前年 26 件)、オール電化申請 112 件(前年 122 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 32 件(前年 17 件)であった。	電気工事業
	1 年余り前より完成工事高・利益共それ迄の 5 年の状態から悪化している事業所が多い。1 年を通じて工事のある状態から年間数か月の暇な時期を含みながらの展開になることが懸念される。直備技能者を多く抱えている場合、給与に絡む法定福利費・有給休暇・研修及び暇な時の給与の負担が重くなっている。	左官業
	技術者やガードマンの人手不足もあり忙しい様子であったが、組合員間で協力し合い、2 月末にほとんどの工事完了の目途がついた模様。3 月は、10 日頃に工事完了の確認をもらい、費用の振込を待つ時期である。新型コロナウイルスの影響は今のところ無い。	管工事業
	新型コロナウイルスが流行しているが、当面直接の影響はない。しかし既に景気の落ち込みにより企業活動が減速しており、今からボデーブローのようにじわじわと効いてくるように思われる。新築着工戸数は、例年減少する時期であるが、今年は特に著しいようである。	屋根工事業
	先月に続き、受注件数、見積件数ともに減少傾向。	鉄骨・鉄筋工事業
	2 月末現在は、年度末までの工事と災害復旧工事のおかげで、各社とも多忙の模様。収益性については、少人数の施工と外注量の費用が大であるため、それ程良いとは思われない。来期は災害復旧工事が減少するために、また苦勞すると思われる。中小企業でも中と小では格差があり、中はまだ良い方。	土木工事業 柳井市
	2 年 2 月の受注高は、対前年同月 29.3%、今年度の累計は、対前年比 78.3%。	土木工事業 萩市
発注工事の入札不調という状況を踏まえ、発注者側と受注者側が忌憚のない意見交換を行うことにより、現状の把握、改善点の洗出し、対応策の検討など、事業推進に繋げることを目的として、意見交換会を開催した。	土木工事業 長門市	
運輸業	新型コロナウイルスの影響で稼働率が低下してきた。遠距離、中距離、短距離の輸送量が減少し、売上は対前年同月比約 9% 弱のマイナス。特にトレーラー車両の輸送量が減少してきている。燃料費が 1.8 円の値下げとなったことは運送業者には朗報であるが、輸送量の減少であまりプラスにはならないようである。	一般貨物自動車運送業 下松市

	<p>今月の輸送取扱高も、前年同月比10%程度の減少となる見通しである。自動車関連については、新型コロナウイルスの影響により、中国の工場の操業停止や物流の停滞によって部品の調達や供給網に影響が出始めており、日本国内における操業も危うい状況。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>どの業界も同様であると思うが、新型コロナウイルスの蔓延が多大な影響を及ぼしている。取引先の製造業関係は中国との取引がストップしているので生産を抑えざるを得ない様子である。その関係で運送案件が減ってきている。保管案件は今のところ安定しているが、これから減少していくことが予想される。先行きが見えない状況である。また、会社の方針として関東方面への移動、会合の出席なども可能な限り見合わせるよう指示がでている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲5.2%（令和2年1月1日～令和2年2月20日分）。1月1日～31日分は▲4.9%、2月1日～20日分は▲5.7%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。1月分については、周南▲2.8%、下松▲7.6%、光▲15.2%、防府市地区が▲8.6%で、組合員の全域では▲5.3%、地区外（員外）+0.5%、合計▲4.9%（▲992千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPが上がり（前月522.5\$/トンが今月567.5\$/トン、前年445.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月625.0\$/トンが今月666.0\$/トン、前年390.0\$/トン）ました。為替も円安（前月110.24円/\$が110.38円/\$）です。燃料単価は前月より+4.1%上昇し、前年1月分比は+13.4%となった。中国をはじめ景気後退で、今後は価格が低下するものと期待されている。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足状態。令和2年2月1日から、タクシー運賃の改定が認可され、7%程度上昇。利用単価は少し上がっているが、合計金額は減少し続けている。新型コロナウイルスへの懸念から、人の移動が控えられ、多人数の行事も中止されている模様。これが引き金となって、景気後退が本格的になることが、大いに懸念される。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
	<p>1社を除き、取扱高が若干の減少となった。</p>	<p>港湾運送業 山陽小野田市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響により取扱貨物が減少している。</p>	<p>港湾運送業 下関市</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>どの介護事業組合員も新型コロナウイルスの対応で大変な状況。2月末に事務員1名が退職し、人員不足の中ではあるが、引き続き組合員様への対応をしっかりと</p>	<p>介護事業</p>



	と行っていこうと思う。	
--	-------------	--